

各位

2013年10月30日  
公益財団法人 SBI 子ども希望財団

「子育て支援フォーラム in 大分  
～子育ての応援とゼロ歳児からの子ども虐待防止を目指して～」  
開催のお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：田淵 義久、以下「当財団」）は、公益社団法人日本医師会および一般社団法人大分県医師会と共同で「子育て支援フォーラム in 大分～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～」を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

記

**「子育て支援フォーラム in 大分」開催概要**

日時： 平成 25 年 11 月 30 日（土） 14：00～17：00

場所： 大分県医師会館  
大分県大分市大字駄原 2892 の 1

参加費： 無料（先着 200 名）

プログラム概要：

基調講演 「未受診妊婦調査がいかに関連するに至ったのか？」

座長：今村 定臣（日本医師会常任理事）

講師：光田 信明（大阪府立母子保健総合医療センター産科主任部長）

シンポジウム 座長：松岡 幸一郎（大分県医師会代議員会議長）

1. 「周産期からの子育て支援－大分県ペリネイタル・ビジット事業－」  
石和 俊（大分県小児科医会副会長／石和こどもクリニック院長）

2. 「妊娠期からの虐待予防－妊娠相談事業：おおいた妊娠ヘルプセンターの活動より－」

貞永 明美（大分県医師会常任理事／貞永産婦人科医院院長）

3. 「ひとりぼっちじゃないよ～虐待を受けた乳幼児期・思春期の子どもへの法的支援～」

坪井 節子（社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長／弁護士）

4. 「児童虐待と社会的養護」

藤林 武史（福岡市こども総合相談センター所長）

詳しいプログラム、ご参加申込方法等は、別添資料もしくは下記よりご覧ください。

【子育て支援フォーラム in 大分 ～子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して～】

<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/information/index.html>

本フォーラムでは、増え続ける児童虐待について「社会全体としてどう取り組んでいけばよいか」というテーマを掲げており、児童虐待の現状をご理解いただくと共に、次世代の健全な育成を目指すという観点からも広く一般の方にもご参加いただきたいと考え、平成 23 年より毎年全国各地で開催し、多くの方にご参加いただいております。

当財団では、今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、将来立派に自立していけるような支援活動を目指し、子どもたちの入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。

## 【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子ども達の福祉向上を目的に 2005 年 10 月に、SBI グループの社会貢献活動として設立され、2010 年 3 月に公益財団法人へ移行しました。児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<http://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

---

## 【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

子育て支援フォーラム、SBI 子ども希望財団の活動について：

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003

子育て支援フォーラム in 大分

# 子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

少子化や核家族化により子育て世代の環境は厳しくなっており、児童虐待の現状も依然として増加傾向が続き大きな社会問題となっています。特に死亡児の年齢が低年齢児、なかでもゼロ歳児に集中していることから、子育ては妊娠したそのときから既にスタートしているとも言え、妊娠初期からその発生を予防する具体的な対応が必要であり、これは社会全体で取り組むべき問題です。

次世代の健全な育成という視点から、一般市民等を対象としたフォーラムを開催します。

参加費無料

先着200名

日時

平成25年  
11月30日(土)  
14:00~17:00

場所

大分県医師会館

※託児施設はございません。ご了承お願い致します。

■主催(共催)

公益社団法人 日本医師会  
公益財団法人 SBI子ども希望財団  
一般社団法人 大分県医師会

■後援(予定)※法人格は省略

厚生労働省、日本産婦人科医会、  
日本小児科医会、大分県、大分市、別府市、  
大分県産婦人科医会、大分県小児科医会、  
大分県助産師会、大分県教育委員会、  
大分県学校保健会、全国児童養護施設協議会、  
全国母子生活支援施設協議会、  
全国乳児福祉協議会

イラスト 金城 暁子

(2013年度オレンジリボン運動公式ポスターコンテスト  
SBI子ども希望財団賞受賞作品)



ママの笑顔は、  
ボクの笑顔。

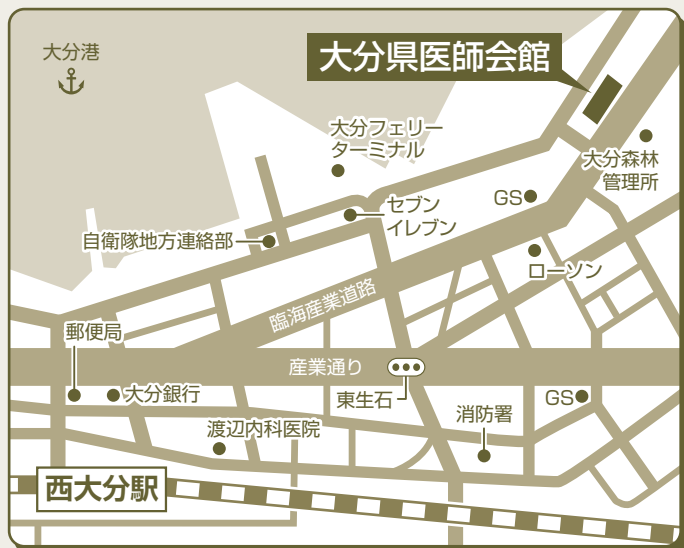
参加ご希望の方は、裏面の申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

# 子育て支援フォーラム in 大分 子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して

日時：平成25年11月30日(土)  
14:00～17:00

場所：大分県医師会館  
〒870-8563 大分市大字駄原2892-1  
TEL:097-532-9121 FAX:097-537-4764

◆JR「西大分」駅より 徒歩15分



## プログラム

司会:井上 雅公(大分県医師会常任理事)

1. 開 会 .....14:00
2. 挨拶 .....14:00～14:10  
横倉 義武(日本医師会会長)、近藤 稔(大分県医師会会長)
3. 基調講演 .....14:10～14:50  
座長:今村 定臣(日本医師会常任理事)  
講師:光田 信明(大阪府立母子保健総合医療センター産科主任部長)  
「未受診妊婦調査がいかに児童虐待と関連するに至ったのか?」
4. シンポジウム .....14:50～16:55  
座長:松岡 幸一郎(大分県医師会代議員会議長)
  - (1)石和 俊(大分県小児科医会副会長/石和こどもクリニック院長)  
「周産期からの子育て支援 ー大分県ペリネイタル・ビジット事業ー」
  - (2)貞永 明美(大分県医師会常任理事/貞永産婦人科医院院長)  
「妊娠期からの虐待予防 ー妊娠相談事業:おおいた妊娠ヘルプセンターの活動よりー」
  - (3)坪井 節子(社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長/弁護士)  
「ひとりぼっちじゃないよ  
ー虐待を受けた乳幼児期・思春期の子どもの法的支援ー」
  - (4)藤林 武史(福岡市こども総合相談センター所長)  
「児童虐待と社会的養護」
- 討議
5. 閉 会 .....16:55～17:00  
田淵 義久(SBI子ども希望財団理事長)

参加ご希望の方は、この申込書にご記入の上、郵便またはFAXにてお申し込みください。

➔ はがき・Eメールによる  
申し込みも受け付けております。

はがき・Eメールには必ず 1.郵便番号 2.住所 3.氏名  
4.電話・FAX番号を忘れずにご記入の上、お送りください。

申込締切:平成25年11月22日(金)必着

※定員になり次第、締め切らせていただきます。  
※参加確定者の発表は参加票の発送をもって代えさせていただきます。  
(11月中旬頃)  
※フォーラム当日は、参加票を忘れずにお持ちください。

郵 送 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
日本医師会地域医療第3課 子育て支援係行

FAX **03-3946-2684**

E-mail [gyakutai@po.med.or.jp](mailto:gyakutai@po.med.or.jp)

H P <http://www.med.or.jp>

お問い合わせ/03-3942-8181(日本医師会地域医療第3課)

## 参加申込書

子育て支援フォーラム in 大分  
子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して [平成25年11月30日(土)開催]

|    |      |   |   |
|----|------|---|---|
| 住所 | 〒 -  |   |   |
| 氏名 | 電話番号 | - | - |
|    | FAX  | - | - |
| 住所 | 〒 -  |   |   |
| 氏名 | 電話番号 | - | - |
|    | FAX  | - | - |

※ボールペンでご記入ください。 ※参加希望者の個人情報は、第三者に提供することはありません。

※3名以上の参加ご希望の方は、この用紙をコピーしてお申し込みください。

↓ FAX送信 03-3946-2684 ↓